

2019 年度

学 校 情 報 の 公 表

(自己評価結果)

2020 年 6 月 30 日

学 校 法 人 川 原 学 園

東 京 動 物 専 門 学 校

目 次

1. はじめに	2
2. 学校概要	2
3. 教育活動	3
4. 学業成果	4
5. 学生支援	5
6. 教育環境	6
7. 学生募集	7
8. 財務	8
9. 地域貢献・地域連携	8
10. 表	
表1 2019年度 卒業生就職状況	
表2 2019年度中に学校主導で取得した資格	
表3 過去8年間の自主退学者数と退学時期	
表4 学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数	
表5 八千代キャンパス 学生利用施設	
表6 富里キャンパス主要動物舎	
表7 富里キャンパス教材動物	
表8 主要実習用設備、及び備品	
表9 財務消費比較表（5カ年）	

1. はじめに

東京動物専門学校は、1987年東京都三田に東京動植物専門学院としてスタートし、1990年3月千葉県知事より学校設置認可を得て、学校法人川原学園、東京動物専門学校として開校しました。開校にあわせて千葉県八千代市に八千代本校舎、富里市に富里実習施設も完成し、動物管理技術者を養成する専門学校として今日に至っております。

学校創設から30年余経過し、多くの卒業生が北海道から九州沖縄まで全国各地の動物園や水族館をはじめ、多くの動物関連施設にて働いております。

また2013(平成25)年には更なる職業教育の充実を図る観点から、企業等との密接な連携を図り、最新の実務の知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門課程を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定する制度ができ、東京動物専門学校(以下本学)も2014(平成26)年3月にその認可を受け、職業教育やキャリア教育の充実に努めており、次の通り、学校情報について公表いたします。

2. 学校概要

(1) 校訓

東京動物専門学校の校訓は「心・知・技・体」です。これは、動物管理技術者に必要な仕事、または動物に対する正しい考え方(心)、最小限必要な知識(知)、基本的な技術(技)、及び健康な体(体)をバランス良く兼ね備えた技術者を育成することです。このうち、学校の授業で教授できるものは「知」と「技」であり、「心」と「体」は2年間の学校生活を通じての様々な体験より身に付くものであると考えております。

(2) 学校の歩み

① 学校誕生

東京動物専門学校は、川原鳥獣貿易株式会社が母体となっております。初代理事長川原義郎は、全国の動物園や水族館からの要望に応じて世界中から動植物の調達等を取り扱ってきました。その仕事を通じて、これらの動物の飼育現場には、動物に対する正しい知識と技術をもった人材がますます必要になると感じ、動物の飼育や看護の専門技術者を養成する学校を設立した次第です。

② 学校の概要

名称 学校法人 川原学園 東京動物専門学校
住所 〒276-0046
千葉県八千代市大和新田1093番8号
TEL 047-459-0511 (代)

フリーダイヤル 0120-010520

沿革	1987年 4月	前理事長の川原義郎が東京都三田に東京動植物専門学院を設立し、開校
	1989年 12月	八千代本校舎完成
	1990年 2月	富里実習施設完成
	1990年 3月	千葉県知事より専修学校の許可を得て、学校法人川原学園を設立し、植物部門を廃止すると共に、東京動物専門学校と校名を変更
	1990年 4月	東京動物専門学校開校
	1992年 3月	本校新校舎完成
	1993年 4月	学科を統合し、コース制を導入
	2014年 3月	文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認可を受ける
	2015年 4月	東京動物専門学校 動物管理科 各学年 140名に学則変更
	2018年 12月	富里キャンパスに、講義棟新設
課程	動物管理専門課程	動物管理科 動物飼育技術者コース

3. 教育活動

(1) 教科数、体系と目標

授業教科は2年間、49科目数、87単位で構成されております。2年間での総授業時間 2451 時間で、内講義は 945 時間、実習は 1506 時間。詳しくは、職業実践専門過程の基本情報にて、授業科目等の概要を示しております。

2016年より前期に1学年を対象に、上野動物園・多摩動物公園・葛西臨海水族園を専門講師の案内による特別案内授業を開始しました。2019年度は上野動物園、埼玉こども動物自然公園、しながわ水族館に変更し、関連科目との連携授業を行っております。また10月にはズーラシアや1泊2日で群馬サファリパーク、かみね動物園、大洗水族館の施設見学会を行い、進路決定の手助けにと就職を目指した活動とすると共に、見聞も広めています。

施設研修（インターンシップ）を2年次後期に実施しております。そこではプロの仕事を実習・体感します。職業教育協定書(事業契約契約書)を締結した事業者のもとにて、基本的には4週間（総時間数 182 時間）の動物飼育実習分野における実践的な職業教育を受け、就職に結びつけております。

(2) 資格試験（各種資格）

潜水土／ダイビング、危険物取扱者（乙種）及び赤十字救命法救急員講習会、玉掛け技能講習、刈払い機取り扱い作業者について、取得方法の指導、試験につ

いての相談、アドバイス等、資格取得講座を開設し希望者には受講させています。

(3)教職員

2019年(令和元年)5月1日現在の教職員数は、総数で32名。

教員数 26名(本務 11名 兼務 15名)

職員数 4名(本務 4名 兼務 0名)

職業実践専門課程では、教職員の研修を強く求められております。当校でも研修体制を充実させ、数年前より全国各地の動物園・水族館などの施設を訪問し、研修を重ねており、2019年8月には北海道のおたる水族館、札幌市円山動物園、登別マリパークニクス、ノーザンホースパーク&ノーザン・ファームに赴き園館長等による講話を受け、園館内を視察した。また3月には進学指導専門家による、「現代高校生、高校教員から見た専門学校の位置づけ」との研修会に、教職員全員が参加し、本校は最上級の位置づけとされているとのことであった。

4. 学業成果

(1)就職指導

①就職指導の方法

本校での就職指導は、大別して3つの方法で行っております。

第一の方法は、全体指導です。1学年に入学した時点から、全学生に「就職のしおり」を配布すると同時に、教育課程の進行状況に合わせて就職に対する準備の方法を指導しております。

第二に「就職ガイダンス」なる就職窓口を、学生課が週1回の割合で授業時間をさいて開き、個人的に就職の相談にのっております。

第三は、2学年後期(実践段階)に行われる施設研修です。学生が具体的に就職を希望する施設(企業)を決定し、学校が職業教育協定書の締結及び研修の申し込みをし、許可が与えられた場合に約4週間にわたって研修するものです。また研修終了後、全学生と教職員にその成果を報告する発表会を約1週間にわたり行い、情報を全校で共有しています。

専門学校で学ぶとは、就職することとが結びついていることでもあります。就職指導は非常に大切ですが、それ以上に学生には専門知識・技能を学ぶことの大切さを絶えず教示しております。

③ 就職状況

表1に2019(令和元)年度卒業生の就職状況を示しました。2019年度卒業123名(就職希望者121名)で就職者数は120名、就職率99%でした。

就職先は大半が動物関連業種であり、動物園、水族館で43名(35%)となり、その他観光牧場、馬関連施設、酪農・畜産、実験動物、動物病院、愛玩系動物販売等非常に多岐にわたっております。今年度では、成田空港探知犬訓練センターや観光施設である、のじまスコウラなどの、新たな方面への就職もあります。

(3) 資格取得状況

表2に2019年度の学校主導で取得した資格状況を示しました。国家資格の危険物取扱免許(乙種)、潜水士については、1学年次にて取得しています。特に国家資格取得のための補講は強化しております。民間資格の赤十字救急法救急員については、大半の学生が取得しており、緊急時での初期対応に役立つものと期待しています。また2015年度より玉掛け技能講習、今年度より刈払い機取り扱い作業者を実施し、就職後即役立つ実践技能として習得させております。

(4) 自主退学者の状況

表3に2012年より2019年までの8年間の学年次別、学期別に自主退学者数と退学率をまとめました。2018年度入学生では、1学年次で23名と近年では多くの退学者をだしましたが、2学年次で7名となりほぼ例年並みと落ち着きました。2019年度入学生では、1学年次で7名と平年の退学者数であった。2020年2月より新型コロナウイルスによる感染による非常事態が起きており、経済的な理由等にて退学者が増加する懸念があり、対応が必要です。

5. 学生支援

(1) 学生相談

表4に、学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数を2018年度2019年度と並列して示しました。

1学年では前年に比べて出欠席は半減、定期試験ではほぼ同じです。出欠席相談が半減した理由は、2018年が例年に比べて2倍に増加し突出していたからです。また、2学年では2018年度と比べて倍増、これは逆に2018年度が例年と比べて少なすぎたことであり、やはり2019年度は例年並みの件数です。

私生活関係では特に1学年に健康面での相談が多く、全国から学生が集まっており、自宅を離れ、寮やアパートなどでの不慣れな新しい生活による健康状態での変調が出てきて相談となるものと思われまます。

(2) 経済支援

① 特別奨学金制度

学生に対する経済的な支援体制のひとつとして、学費を無利子で貸与する学校法人川原学園特別奨学金制度を設けており、学費を無利子で貸与する制度で

す。

② 独立行政法人日本学生支援機構による奨学金制度

公的な奨学金制度を学生紹介するとともに、懇切丁寧に相談に対応し、経済支援をしております。

6. 教育環境

(5) 八千代キャンパス及び学生利用施設

講義による知識の習得の場としての八千代本校舎は、1989年（本館）及び1992年（新館）に建設され、教室の面積によりコース別講義室（本館）と学科講義室（新館）に分かれております。

また学生利用施設として、自習施設（図書室）、福利施設としての学生ホールも備えている。詳細の面積等については、表5に示す。

学生数増加に伴い、教室内に大型TVを設置し、映像による講義の効果を高めており、学生には好評です。また数年前に取得した隣接地には芝生による緑化を計り学校祭などの使用時には非常に好評です。また2017年には学生ホールで快適に休憩や食事がとれるテーブルを一新しました。また教室内の机も2018年度に一新し、学生にとって利便性の改善となり好評です。

(6) 富里キャンパス

表6に富里キャンパスの主要動物舎面積を示しております。動物舎は第1号より第22号まで22棟あり、そのほかに放飼場、馬場、馬放飼場、付属農園があります。これらの動物舎は、本校の学生が動物舎の構造を実際に理解できる目的で、学生等の実習を兼ねながら手造りしたものが多く、体験実習の成果であります。また展示施設ではなく、あくまでも飼育施設であり、動物福祉に配慮した構造としております。

2018年秋には、講義棟が新築され、講義や実習に活用させています。

表7には、富里実習施設において飼育している教材となる動物を、哺乳類から鳥類、は虫類、両生類、魚類まで230種類1,545点（2020年3月末）動物園や水族館等で飼育されているような動物が実習に供されています。

2017年秋には、ホワイトタイガーで教育目的による国内で初となる飼育許可を受け導入、また2018年にはCITES付属書I表のワオキツネザルを飼育開始し、希少性や危険性のある動物飼育を始め、緊張感ある飼育で教育効果を上げている

(3) 実習用設備及び備品

主要実習設備及び備品を表8に挙げました。基本的な備品の整備に努めています。

(4)防災対策

毎年7月に八千代キャンパスにて、近隣の消防署の協力を得て、火災防災訓練、12月に地震防災訓練を実施しております。対象者は、学生及び教職員全員です。

7.学生募集

(7) インターネットでの情報提供

インターネットのウェブ上で、ホームページを開き学校紹介を行っており、学校案内、学べること、キャンパス紹介、卒業生の活躍、オープンキャンパス案内、最新情報ブログなど内容は、随時最新の情報に更新しております。また資料請求や問い合わせもウェブ上でできるようになっております。

また東京動物専門学校案内を2020年度版『まるで動物園のような学校!』を作成し、カリキュラムや飼育・施設研修内容、就職情報等を満載しております。近隣の高等学校に配布し、また資料請求に基づき希望者には送付しております。

(8) オープンキャンパス

① 学校説明会

八千代キャンパスで開催し、学校及び学校生活全般の説明をしており、入学試験、学費、就職などの多くの各種質問も受けています。

また校舎内外の見学も併せて実施し、学校内容を十分に理解、納得した上で試験に臨むよう入学希望者に説明しています。この説明会は、3月から2月まで計15回、土曜日に開催いたしました。

② 体験入学（実習体験）

富里キャンパスで実施している飼育実習の一部、動物のエサづくりやエサやり、また、乗馬などが体験できます。この体験入学は、5月から7月の日曜日に計7回開催しました。

③ 施設見学

施設見学は富里キャンパスで開催し、放飼場や動物舎をご案内いたします、富里キャンパスでの、学生生活を想像していただけます。計7回開催いたしました。

④ 授業見学

八千代キャンパスにて実際に学生が学ぶ様子を見学するもので、学校の雰囲気を感じることが出来ます。また休憩時間には、在学生と話すこともでき、若者同士による情報交換の時でもあります。授業見学は月～金曜日まで事前予約にて受け入れております。

(3)高等学校訪問

関東圏の高等学校(約 230 校)の進路相談会に出席すると共に、庶務課と学生課の職員が単独で訪問し、進学担当者などに直接面会し、学校案内書などを利用し情報提供するとともに、学生の進路相談時の学校紹介などについて依頼した。

8.財 務

表 9 に財務消費比較表にて 2015 年度より 2019 年度までの過去 5 カ年分を示しました。この数年間は毎年 140 名前でほぼ定員の学生を確保しており、収入の大半を占める学費等の収入も横ばいで安定しています。財務健全化には消費支出の抑制も必要ですが、その大半は固定的経費であり、今後共経年劣化する建物の維持管理費の捻出が必須でもあり、入学生の確保は、専門学校維持管理には必須の要件です。

近年 TV 取材が多くなり、マスメディアへの露出が学生募集には貢献していると思われます。

9. 地域貢献・地域連携

(9) 学校祭

2019 年 9 月 20 日から 22 日までの 3 日間、八千代キャンパス及び校庭にて、学校祭を開催し、延べ 1 万 4 千人の来場者で賑わいました。例年通り、富里キャンパスから動物を移動展示し、動物とのふれあい、エサやり、乗馬体験、動物たちのショーなど動物専門学校ならではの盛りたくさん内容で実施しました。

近隣より多くの皆様が来場され、楽しい 3 日間のイベントとなりました。参加している学生も楽しみで、また来場者も大いに楽しんでおります。学校周辺の住民増加が来場者増加の大きな要因と思われます。来場者が増加することはよいのですが、ほぼ限界に近い状況になりつつあり、混雑解消対策が必須の課題です。

この学校祭は、開校以来継続的に学生が主体となり、企画立案・作成準備・実施といった過程をこなし、運営するものであり、学生たちのコミュニケーション能力やリーダーシップなどの養成に大いに役立つものです。今年は学校祭直前に千葉県を台風が直撃、飼育場も被害を受けたのですが、どうにか学校祭開催に結びつけられたのは、職員及び学生が一体となり準備した成果です。

表1：2019年度 卒業生就職状況

(2020.3.25 現在)

卒業生数：123名 (就職希望者数：121名)

就職者数：120名

就職率：99%

就職先分野	企業数	求人数	就職者数
動物園	47	118	35
水族館	25	50	8
観光施設	19	34	16
馬育成・管理	27	71	4
酪農・畜産	71	212	16
実験動物	6	34	2
動物病院	225	468	9
愛玩系動物販売	32	60	17
動物訓練	4	27	0
動物ふれあい施設	3	3	2
その他動物関連	9	11	4
動物関連外	4	7	7
総合計	472	1,095	120

就職先分野	主な就職先
動物園	浜松市動物園、鹿児島市平川動物公園、※上野動物園、※多摩動物公園 ※大島公園動物園、※市川市動植物園、※横浜市緑の協会、※狭山市立 智光山公園こども動物園、※須坂市動物園、※長野市茶臼山動物園、 ※静岡市立日本平動物園、宇都宮動物園、東武動物公園、岩手サファリ パーク、那須どうぶつ王国、東北サファリパーク、群馬サファリパーク、 富士サファリパーク、伊豆アニマルキングダム、伊豆シャボテン動物公 園、神戸どうぶつ王国、別府ラクテンチ、カドリードミニオン
水族館	青森県営浅虫水族館、鴨川シーワールド、※東京都葛西臨海水族園、 よみうりランドアシカ館、鳥羽水族館、沖縄美ら海水族館、(すみだ水)
観光牧場	伊香保グリーン牧場、マザー牧場、成田ゆめ牧場、どうぶつむらワールド 牧場、のじまスコーラ、モクモク手づくりファーム、(世界のめん羊館)
馬育成・管理	追分ファーム、よつば乗馬クラブ、乗馬クラブクレイン
酪農・畜産	レークヒル牧場、瑞穂農場、(株)トマル、加茂牧場、小堀屋畜産、 越川ファーム、庄司牧場、木更津農場、房総ファーム、ブライトピック、 丹後ジャージー牧場
実験動物	東京慈恵会医科大学(株)、(株)ジェー・エー・シー
動物病院	あかつき動物病院、飯島犬猫病院、かどやアニマルホスピタル、越谷動 物医療センター、ノア動物病院、はやし動物病院、豪徳寺なみき診療所
愛玩系動物販売	アミーゴ、かねだい八千代店、COO&RIKU、ペットのコジマ、 ZOO JAPAN、フィッシュランド イシハラ、名東水園、 ペッコショップPROP、楽鳥園、神畑養魚
動物ふれあい施設	(株)青空 ライフZOO
その他動物関連	成田空港探知犬訓練センター、浜松市青少年の家、 ティワイネットZOOKISS、池田養鱈場

※印は、契約職員等又はアルバイト契約(更新条件付)

表2：2019年度中に学校主導で取得した資格

資格名	資格の区分	取得者数（人）	
		1学年次学生	2学年次学生
危険物取扱免許（乙種）	国家	50	0
潜水士	国家	36	3
赤十字救急法救急員	民間	138	0
玉掛け技能講習	国家	138	0
刈払い機取り扱い作業員	国家	0	93
小型船舶操縦士	国家	0	0
フォークリフト	国家	0	0
		362	96
	合計	458	

表3：過去8年間の自主退学者数と退学時期

入学年度	入学者数	退学者合計 (退学割合%)	単位（人）				留年者
			1学年 前期	1学年 後期	2学年 前期	2学年 後期	
2012年	158	26 (16.5)	6	13	3	4	特別コース1 休学 1 (自主退学)
2013年	150	27 (18.0)	6	15	5	1	
2014年	152	18 (11.8)	3	10	3	2	特別コース1名
2015年	155	12 (7.7)	4	4	3	1	
2016年	128	16 (12.5)	4	5	5	2	特別コース1名
2017年	153	12 (7.8)	3	5	4	0	
2018年	153	30 (19.6)	3	20	5	2	
2019年	144	7 (4.9)	5	2			

表4：学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数

内 容	学 年	1 学年 (件数)		2 学年 (件数)	
		2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
学 校 関 係					
学 校 生 活 全 般		21	15	3	6
進 路 変 更		5	3	0	2
友 人 関 係		0	0	0	2
出 欠 席		86	42	58	53
定 期 試 験		60	58	5	22
学 外 研 修		0	0	10	0
私 生 活 関 係					
健 康		29	16	6	2
私 生 活 全 般		0	0	0	2
将 来 へ の 不 安		0	0	0	0
		201	134	82	89

表5：八千代キャンパス 学生利用施設

校 舎	用 途	名 称	面 積 [m ² (坪)]	備 考
本 館	コース別講義室	102教室	60.75 (18.37)	
		201教室	60.75 (18.37)	
		301教室	60.75 (18.37)	
		302教室	60.75 (18.37)	
新 館	学 科 講 義 室	103教室	60.325 (18.24)	
		203-1教室	120.65 (36.49)	※2
		203-2教室	120.65 (36.49)	※2
		303教室	279.30 (84.48)	
	自 習 施 設	図 書 室	33.77 (10.21)	
	福 利 施 設	学 生 ホール	112.825 (34.04)	

※1：蔵書数（2019年3月31日現在） 2,029冊

※2：203-2教室（203-1）と合わせて、教室として使用可。

表6：富里キャンパス主要動物舎

名 称	面 積(m ²)	(坪)
第 1号 動物舎	167.2	50.58
第 2号 動物舎	109.5	33.12
第 3号 動物舎	193.9	58.65
第 4号 動物舎	281.4	85.12
第 5号 動物舎	182.6	55.24
第 6号 動物舎	270	81.68
第 7号 動物舎	236	71.39
第 8号 動物舎	132.2	39.99
第 9号 動物舎	132.2	39.99
第10号 動物舎	207.7	62.83
第16号 動物舎	67.5	20.42
第17号 動物舎	34	10.29
第18号 動物舎	32.4	9.80
第21号 動物舎	50.8	15.37
第22号 動物舎	20.9	6.32
牛 舎	64.8	19.60
放 飼 場	3,300	998.25
馬 場	2,000	605
馬 放 飼 場	2,067	625.27
付 属 農 場	17,088	5,169.12
合 計	26,638.1	8,058.02

各獣舎の広さは運動場を含まず

表7：富里実習施設教材動物

網名	種 数	点数
哺乳綱	83	670
鳥 綱	117	798
八虫綱	20	44
硬骨魚綱	10	33
合 計	230種	1,545点

(2020年3月末現在)

	設備及び備品名称	数量		設備及び備品名称	数量
1	AC-システムケーシングL型	1	28	耳鏡セット アンテナ付	6
2	入院用ケージ	1	29	眼鏡セット	1
3	体重計診療台	1	30	ウッド灯	1
4	手術台	1	31	尿比重計	1
5	動物全身麻酔装置	1	32	卓上タンパク比重計	1
6	心電図モニター	1	33	タンパク屈折計	1
7	レントゲンシステム	1	34	ヘマトクリットリーダー	5
8	レントゲンカセット	9	35	血球計算版(3種類)	17
9	シャウカステン	1	36	黄疸指数計	2
10	グリット	1	37	聴診器(学生用)	20
11	プロテクターグローブ	2	38	聴診器(リットマン)	2
12	プロテクターエプロン	1	39	上皿天秤	1
13	无影灯	1	40	電子天秤	1
14	保育器	1	41	骨格標本	1
15	内視鏡	1	42	模型(眼・耳)	3
16	自動高圧蒸気滅菌器	1	43	CPR DOG	1
17	ガス滅菌器	1	44	術衣・有窓布・無窓布	37
18	ガス滅菌器 カスト	1	45	グルーミング台	17
19	ヘマトクリット遠心機	1	46	シンク	4
20	殺菌線消毒器	1	47	ハンドドライヤー	7
21	顕微鏡(モニター付)	1	48	スタンドドライヤー	3
22	顕微鏡	27	49	毛刈り用バリカン	6
23	スケラー	2	50	シーラー	1
24	輸液ポンプ	5	51	術衣棚	1
25	検眼鏡・耳鏡付	1	52	器械戸棚	1
26	喉頭鏡	1	53	物置戸棚	1
			54	備品戸棚・物品棚	8

表9：財務消費比較表（5か年）

(千円)

	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
帰属収入合計	382,568	415,811	379,909	365,591	374,033
基本金組入合計額	540	10,180	1,620	12,716	1,4040
消費収入の部の合計	382,028	405,631	378,289	352,875	359,993
消費支出の部の合計	380,345	367,389	353,721	330,218	334,477
当年度消費支出超過額	1,704	38,250	22,548	22,548	25,515
前年度消費支出超過額	△403,824	△442,025	△455,126	△477,674	△503,190
基本金取崩額					
翌年度消費収支超過額	△402,119	△403,824	△432,578	△455,126	△477,674

減価償却額	12,007	11,740	12,540	12,540	11,831
-------	--------	--------	--------	--------	--------

在籍者数(5月1日現在)	273名	298名	272名	276名	294名
教員数(本務・兼務)	28(12・16)名	26(12・14)名	26(11・15)名	28(11・17)名	27(11・16)名
定員に対する現員比較	97.50%	106.43%	97.14%	98.57%	122.50%

自己評価に対する意見書

2020年6月 5日

学校法人 川原学園
東京動物専門学校
学校長 北村 健一様

獣医師 片井 信之

はじめに

私は大学卒業後一貫して静岡県にある私立動物園にて働いておりました。その間東京動物専門学校の第一期卒業生から現在まで多くの東京動物専門学校の卒業生と共に一緒に働き過ごしました。2014年の職業実践課程認可に基づき、学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会が発足し、私はその両委員会の委員を嘱託され、6年経過しました。それらの委員を通じ、今回東京動物専門学校が作成した自己評価について若干の意見を述べさせていただきます。

1. 自己評価の方法

文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」等に基づき誠実に自己評価を作成し、公表しています。なお、東京動物専門学校は認可以前より実施しており、認可を受けたから新たに始めたことではありません。情報化社会で情報の開示が広く求められております。東京動物専門学校では、毎年ホームページに開示しており、今後も継続して頂きたい。

2. 教育活動

東京動物専門学校への入学生の大半の希望は、動物園や水族館の飼育係員になることですが、積極的に行ったことがある学生は少ないため、数年前より、専門の解説員付きでの特別授業を行っております。2019年度は、見学先を上野動物園、埼玉こども自然動物公園、しながわ水族館に変更し、新たな視点での見学となり、それなりの成果がでたとの報告を受けました。見学先は変更しても単に見学するだけでなく、課題を持ち、動物研究法等の授業と連携し、見学成果を更に充実させており、学生にとって厳しい授業となっているようですが、それが1年先の就職戦線での成果となることには確信が持てます。

また2019年の秋には1泊2日で近隣のサファリパークや動物園水族館の見学し、その際関係者より直々に講話を受けており、1年生にとって非常に良い体験になったと思います。幅広く見学等の体験により、視野が広がり、自らも動物園等に出向

く機会となり、将来への足掛かりが得られることと思われま

す。動物分野の職種は非常に広範であり、時代の推移とともに、ふれあいに新しく動物を使用したビジネスも生まれており、教育活動もこのような変化を捉えた柔軟なカリキュラムが必要と思われま

す。ここ数年の入学者数は140名の定員を充足しており、応募者の中から選抜しているようです。学生数増加による授業方式や実習方法も過去には囚われず、改善や変革が必要です。

3. 学修成果

就職状況について、2019年度もほぼ100%であり、数値的には問題はありません。動物園・水族館には40名余の就職が出来、普段の厳しい教育の成果のたまものであり、教育方法等には感いはないと思われま

す。しかし動物関連の職種は、非常に多岐にわたり、その社会的使命や役割等を学生が理解し、希望をもって前向きに多くの分野で活躍することを期待したい。このことは、就職担当者の指導にかかっているともいわれ、特に現実

は厳しいのですが、安全で安定とした食の提供を担う畜産関連への進出を期待します。自主退学者の状況は、ここ数年は減少傾向でしたが、2018年入学者は20数名が退学し特異年でした。退学理由としては、個人により様々と思われま

4. 教育環境

す。是非共、中退者ゼロを目指した指導等をよろしく願います。また学力もその理由のひとつです。入学時の選抜等にも配慮し、注視する必要があると思いま

す。学生の学習能力差は相当あると思われ、特に下位の学生フォローを願いたい。富里実習施設に、2018年12月新しい講義棟が竣工し、一段と整備が進み、今までの仮設のような建物ではなく、しっかりした鉄骨コンクリート造りで空調設備等も完備し、学生にとって快適な環境で勉学に励むことができると思われま

す。しかし、教育はあくまでも教育内容の質の問題です。設備にとらわれず、教育内容特に飼育実習の質の充実を図り、社会の要求に沿った人材育成を願いま

す。また実習施設内で飼育している動物は、哺乳類、鳥類、両生・爬虫類など数多くを飼育しいわばミニ動物園であり、ここで飼育実習する学生は羨ましい限りです。実習内容については、学生アンケートでまだまだ課題があるようですので、特に学生数が増えれば増えたなりに問題はあります。効果的効率的な実習を行うためには、職員の目配り・気配りなど大変な努力が必要なので、なお一層の奮起を願いま

す。八千代校舎も30年近く経過し、什器や設備等の更新も順次行われている模様で、今年度は机を一回り大きなものに一新したとのことで、今後共快適な環境整備を望みます。

5. その他

文部科学省が「職業実践専門課程」の認可を始めて6年経過しました。その認可の成果なりがどの程度でているのか、確信がもてません。特に高校での進路指導や職場での取り扱いがまだまだ見えておりません。また公立の動物園・水族館でも職員待遇では、指定管理者制度による有期な雇用契約が多くみられ、政府が進める働き方改革とは相反する現象で、若者の処遇には改善の兆しはみえません。専門学校ではどうしようもないことですが、一生懸命勉学に励んだ学生に希望がもてる社会となるよう願っております。

東京動物専門学校は、採用した職場や研修先では非常に良好な評価を受けているようです。その一つとして、挨拶ができる。社会人として挨拶は当たり前です。しかしこの当たり前が出来ないのが、現代では常識になっています。しかし社会は厳しいものです。当たり前のことがしっかり出来るような躰の厳しさがが必要です。成熟化した社会にあって厳しきは、貴重な存在かもしれません。

2020年1月より新型コロナウイルス感染症が広がっており、パンデミックというかつて経験したことがない現象が続いております。東京動物専門学校は、卒業式及び2020年度入学式は粛々と実施したが、その後の授業には多大な影響を受け、変則的な授業を強いられていると思われます。この機会に新しい授業形態や実習等を創意工夫して変革による新たな教育方法による人材育成を期待します。

以上